

使徒言行錄 20章23
〜
24節

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

お詫びと訂正

西部地方会

信徒修養会を開催

高基洪牧師を講師に聖霊について学ぶ

2月10、11日、第17回西部地方会信徒修養会が、兵庫と聖霊」との主題で行なわれた修養会には、68名(うち子ども6人)の参加があった。



まず、開会礼拝では、講師の高基洪牧師(韓国・平康教会)による主題メッセージが行われた。高牧師は、とくに福音書と使徒行伝、パウロ書簡を用いながら、「聖霊によらなければ、①自分自身が罪人であることがわからない(ヨハネ16:8)、②イエス様が救い主であることも信じられない(1コリント2:12)、③罪を避け、神に近寄っていくキリスト者の生活ができない(ガラ5:16以下)、④地の果てまで福音を述べ伝える私たちの使命も果せない(使徒1:8)。信仰生活において一番重要なことの1つは、聖霊と人格的に出会うことである」と述べた。

西南地方会

正初査経会と都諸職会を開催

開拓伝道報告に喜びと励ましの拍手

西南地方会で長年、伝統として受け継いでいる正初査経会と都諸職会が、1月8日、伝道部主催で小倉教会において行われた。新しい年を聖書の学びと聖徒の交わりから始めようと10教会・伝道所から75人が集った。

査経会では、「聖書は我々が光」との主題で、講師の黄錫千牧師(西南地方会所属)が、旧約聖書の理解を深めるためその歴史的な文脈を丁寧に解説した。とくに人類の救済史として描かれていく聖書の物語からエジプトとカナンの定着を取り上げ、それが救いに至る過程における神と人間のドラマであると語った。

京都教会が創立80周年

記念事業の一環として教会堂建築

京都教会が創立80周年を迎え、2005年10月2日に創立80周年記念感謝礼拝を挙げた。

記念礼拝では、堂会長の朴龍洙牧師の司会のもと、

韓大龍長老の祈禱、京都教会聖歌隊による特別讃美、関西地方会会長の鄭然元牧師より「健康な教会、真の教会」と題しての説教があった。そして、信徒一同による教会史80年を導いてくださった神の恵みを覚えながら、共同祈禱がなされた。

その後、KCCJ総会から李聖雨牧師、日本基督教団京都教区議長の佐原英一牧師、韓国の姉妹教会・釜山平光教会の李龍熙長老からそれぞれ祝辞があった。記念礼拝は、余台植長老の挨拶、大阪西成教会元老牧師の金元治牧師の祝辞をもって終えた。

京都教会は、新しい時代にふさわしい宣教活動のため、1985年に「長期計画委員会」を設置した。委員会は、宣教と教育の企画はもちろぬ、教会建築というビジョンを20年前から宣教課題として掲げ、取り組んできた。2005年1月の信徒総会において、教会堂建築が正式に決まったことをきっかけに、「長期計画委員会」はそれまでの使命を果たし、新たに「建築委員会」が構成された。

そして、創立80周年記念事業の一環として、「建築委員会」を中心に、新しい教会堂建築を検討され、ついには設計図が完成するまでに導かれた。新しく建築される教会堂は、単なる建物ではなく、地域の人びとを神に導くため、「神様が生き永らえてくださる教会堂」をコンセプトに計画されている。

女性会の奉仕による愛餐会をはさんで、新年の挨拶と交わり、各教会の近況報告が行われた。地方の教会の孤獨な宣教の闘いと、財政難の中にあっても、福音がもつ光と希望

によって困難を克服し、主日礼拝と活動を支えているという報告に参加者は熱い思いとなつた。別府と宮崎、博多伝道所の実りある開拓伝道報告には、喜びと励ましの拍手が起った。

集会の終わりに、地方会の信徒、役員、牧師、西

ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用

関西地方会
教育部

CS教師研修会開く

夏期学校のための共通教材の作成を決定



2月26日、大阪北部教会において、関西地方会教育部主催のCS教師研修会が開かれた。

関西地方会教育部では教師研修会を年に3回もっている。今回は、「イースター

のたの準備」として、呉寿恵教育主事による講演があった。内容は、教会歴についての説明、レントとイースターを導くことについての歴史的な背景と意味、そして、その祝い方についてであった。

レントとイースターの重要性については、CS教師たちもよく把握している。 Lentとイースターを導くことについて、実際は把握していないことが多い。教会歴の再認識と定着化も含めて、各教会の信徒

7月までに4回、各教会のCS教師代表と共に夏期学校の教材を作成するための会議をもつことを決定した。

(報告・楊尚真)

ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用

ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用



ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用

ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用

ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用

ある。他の人にある聖霊の賜物が自分にはないことについて、自分は聖霊を受けていないと思うのは間違いである。そして、聖霊の賜物はみな同等である。優等な賜物があり、劣等な賜物があるということではない。神様が与えるままにだき、その受けた聖霊の賜物を活用し、神が私たちに求めている人生に、任されている使命に励むように用

西部女性会

会長会議と一日研修会開催

「愛されるリーダー」の条件を学ぶ

西部地方教会女性連合会主催による2006年度会長会議と一日研修会が、2月16日西宮教会堂にて開催された。33名が出席した。



開会礼拝は、朴英子副会長司会により始まり、梁栄友牧師から「生き生きとしたキリスト者の希望」(1ペテロ1:3-5)と題してのメッセージがあり、私たちがそれぞれ主の働きや宣教の使命を託されていることを覚え、主に感謝しつつ最善を尽くしながら前進して行こうと熱く

のもと、朴伝道師より「愛されるリーダー」(ローマ8:26-30)と題するメッセージがあった。愛されるリーダーの条件は、まず神に祈る、万事が益となるよう共に(教会員全員で)働く、積極的なコミュニケーションをとる、自分を愛し肯定的になる、学び、助け人となり、責任をとることなどであること、讃美やプロジェクトを使いながら、楽しく、わかりやすく語った。

「外基法」制定を求める集会

社会委員会・西南社会部などが主催

九州北で行う

在日外国人に地域住民としての地位と権利を保障する「外国人住民基本法」の制定を求める集会が、2月19日、北九州市の日本基督教団小倉東條崎教会で行われた。同集会は、KCCJ社会委員会および西南地方社会部、九州・山口外教会連、日本基督教団九州教区伝道センター宣教協力部門などの主催で行われ、キリスト教関係者など35人が参加した。

崔昌華記念北九州人権集会開催

「在日」私が歩んで来た道」テーマに

1994年2月8日に天に召された故崔昌華牧師を偲び、在日同胞人権獲得運動の志を継承する北九州人権集会が、2月12日、北九州市立商工貿易会館で開かれた。今年で11回目の集会には、市内の有志者55名の参加があった。

在日韓国YMCA

創立百周年記念行事

在日韓国YMCAは、2006年に創立百周年を迎える。4月25日までに左記の行事が行われる。

●国際文化発表会(在日同胞文化の創造・国際理解)
日時: 3月11日(土) 午後2時30分
場所: 在日韓国文化館(地下ホール)
内容: 国際文化発表会・子どもクラス成果発表会・国際文化部ホムカミングパーティ

●特別聖会・教会・致
日時: 3月18日・19日 午後4時30分
場所: 在日韓国文化館(地下ホール)
講師: 金東吳牧師(서울 성서교회)
●関西韓国YMCAフェス
A(03-3233-0611)

金さんは、1956年に大阪生野区に生まれた。民族伝説芸術と出会い、自分

在日韓国YMCA

創立百周年記念シンポジウム開催

「在日」を生きるための現住所」テーマに

2月7日、在日韓国YMCA主催の創立百周年記念シンポジウムが、在日韓国文化館において開催された。「在日」を生きるための現住所」未来への挑戦」をテーマに行われたシンポジウムには、約120名の参加があった。

今年4月25日に創立百周年を迎える在日韓国YMCAは、来年4月にかけて、百年の歴史を振り返りつつ、現在の状況と課題を明らかにし、同YMCAの働きを未来に向けて発展させることを目的とした一連の記念行事を行っていくが、その最初の行事が、今回の記念シンポジウムである。

シンポジウムでは、まず、KCCJ青年会関東地方連合会の青年たち11名が、パフォーマンスを行った。その内容は、在日青年たちの「現住所」、すなわち「在日」としての自分たちの思いを、民族楽器を用いたパフォーマンスや劇、証言などで表したものであった。とくに、ブナムとラップのコラボレーションによって、ルーツとつながりつつも自分たちの「個」としての思いも大事にすることを表現したことは、参加者に一様に感動を与えた。

続いて行われた基調報告





在日韓国YMCA

東京韓国YMCA ※会員及び教職者割引有

- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル): フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール: 220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャンク・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCAアジア語学院(日本語学校)

関西韓国YMCA

- ◆韓国民俗芸術科公演会「YMCAフェスティバル'06」
- 日時: 2006年4月15日(土) 午後6時半 大阪・森ノ宮ピロティホール

在日韓国YMCA

http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/

東京韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

関西韓国YMCAアジア青少年センター
〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

『在日大韓基督教会 宣教90周年記念誌』

〇78の個教会・伝道所の歩み
〇5地方会の歴史
〇青年会・女性会の歴史
〇宣教90年の歴史年表
(口絵7ページ/本文438ページ)
定価●4500円(送料含む)
◆お申し込みは、各教会に。